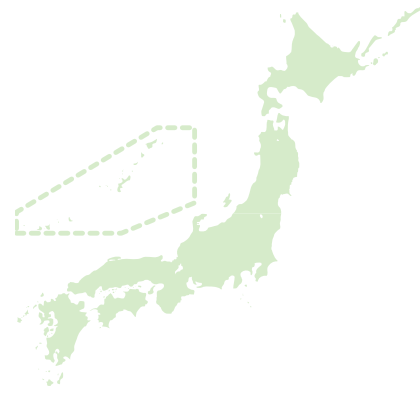


平成29年度

「言語聴覚の日」イベント報告



大分県

大分県言語聴覚士協会

～「伝えたい」をつなぐ、それが言語聴覚士です～

実行委員長 山本周平

大分県言語聴覚士協会では、「県民も含めた多くの方に言語聴覚士を知ってもらいたい」との思いで「言語聴覚の日」事業を行っています。今年も9月2日(土)15時～18時の3時間、陸の窓口であるJR大分駅前広場をお借りして、「9月1日は言語聴覚の日～伝えたいをつなぐ、それが言語聴覚士です～」と題したイベントを開催しました。

今回は大分県健康寿命日本一応援企業・団体として、県福祉保健部健康づくり支援課より「みんなで延ばそう健康寿命日本一」のポスターとのぼりをお借りしました。集客に向けては、県士会ホームページは勿論のこと、大分県ホームページへの案内掲載や各関連団体への周知に加え、地元新聞社への広告掲載を行いました。当日は新聞をご覧になりお越しいただいた方も多数いらっしゃいました。

イベント内容としては、『成人・小児の言葉、聴こえ、飲み込みなどの相談コーナー』『進路に関する相談コーナー』『脳トレ体験コーナー』『射的・お菓子すくいコーナー』を設け、県士会パンフレットやうちわの配布も行いました。うちわの表は「言語聴覚の日のPR」、裏面には「難聴になるリスクのチェックシート」を掲載し(写真)約700枚配布しました。多くの方が複数のコーナーにお立ち寄りになり、計180名の来場数となりました。

相談コーナーには、小児関係や失語症者とそのご家族からの悩みや要望にお応えしました。

進路関係では、約50名の高校生や専門学校生が仕事内容や進学相談を熱心に受けていました。

今年度は、イベントPRと内容の拡充を図ったことで、昨年の2倍近くの方に来場いただき、大変盛況に終わることができました。暑い中、運営スタッフとして参加した14名の会員一同、言語聴覚士への社会的ニーズや期待が大きいことを肌で感じることができ、言語聴覚士としての喜びを再度実感できた機会になりました。

今後も地域に根ざした言語聴覚士を目指して、言語聴覚障害や摂食嚥下障害ならびに言語聴覚士などについて広く知っていただけるよう協会運営を行っていきたいと思います。



JR大分駅前広場にて



イベント会場の様子



うちわを手にして
扇ぎながら市内を歩いていました